

浅野誠 2013年1月

動植物シリーズ2

我が家の 樹木・草・花・観葉植物



2010年12月26日

撮影

我が家の2階3階を覆い

隠すブーゲンビリア

目次

※ 本文の各項目の年月日は、ブログ掲載日だ。

はじめに 我が畑庭	4
アロエ (シャボンロカイ)	10
アスパラガス	13
アナナス	13
アネモネ	14
アマリリス	14
エピデンドラム	17
オオタニワタリ=アスプレニウム	17
オオバナアリアケカズラ	18
オクラレルカ	19
オリズルラン	20
ガザニア	21
ガジマル	21
カシワバゴムノキ	24
菊	25
クチナシ	25
クフェア	26
グラジオラス	26
くろき (クルチ りゅうきゅうこくたん)	27
クロトン	28
クワズイモ (アロカシア)	29
ゲッキツ	31
コーヒー	31
コスモス	32
コデマリ	32

コリウス	3 3
コルディリネ	3 4
サガリバナ＝サワフジ	3 4
サボテン	3 5
サルスベリ (百日紅)	3 6
サンセベリア＝トラノオラン	3 7
サンダンカ	3 8
サンニン (月桃)	3 9
シッサス	3 9
ジャスミンマツリカ (ムイクワ)	4 1
スイセン	4 2
スイレン	4 2
スパティフィラム	4 3
セイロンベンケイ	4 3
セダム	4 5
千年木	4 5
ソテツ (蘇鉄)	4 7
台湾レンギョウ (デュランタ)	4 9
チシャノキ	5 0
ツワブキ	5 1
ティートリー	5 1
デレメンシス	5 2
トックリヤシモドキ	5 2
ドラセナ	5 3
トレニヤ・コンカラー	5 4
なでしこ	5 5
ナンテン	5 5

ニチニチソウ	5 6
ハイビスカス (ぶっそうげ、あかばな)	5 6
ばら	6 0
ヒメヒイラギ	6 0
百日草	6 1
フィットニア	6 1
ブーゲンビリア	6 2
ふうせんかずら	6 8
フリースア	6 9
アイビー=ヘデラ	6 9
ペペロミア	6 9
ポインセチア	7 0
ホテイアオイ	7 0
ポトス	7 1
マニラやし	7 2
ミルクブッシュ	7 2
メイフラワー	7 3
モンテスラ	7 5
ユーフォルビア・ダイヤモンドフロスト	7 5
百合	7 6
ラン	7 7
リュウキュウサザンカ	7 8
リュウゼツラン	7 9
レオノチス=ライオンズイヤー	7 9
ワシントンヤシ	7 9

はじめに 我が畑庭

我が家は、森の隣に位置する。我が家自体が森状態に近いので、森の端、森のはずれだといっていいかもしれない。だから、自然に親しみやすい場であり、樹木・草・花・観葉植物が育ちやすい場だ。

もともと、ここに棲みついていた植物に、前所有者が植えたもの、そして私たちが加えたものがハモリながら、育つように庭畑づくりをしてきた。スタートは、2004年秋。今回掲載するのは、ブログを始めた2007年春から、2010年末までのものだ。



2008年4月
9日
我が家の畑庭の
全体風景

3階ベランダから、
我が家の庭畑を撮
る。



2010年12月3
1日 我が家入口光
景

我が家のシンボルのシ
ーサー一対が鎮座。写真
は右側のもの

その横には、パッショ
ンフルーツの実、そして
クロトンなどいくつかの
植物が並ぶ。

2010年9月19日、 我が家の樹木・花

※ それまでに掲載したブログ記事のなかの、カテゴリー「我が家の樹木・花」を整理した際に行った小文。

2006年1月のホームページ『随想』記事には、樹木13種、草花37種、花木17種と書いた。その後少しずつ増えている。最近では、新規に植える場所はほぼない。畑を減らして植えるしかない。

バラと伊江島で購入したハイビスカスはそうした。ハイビスカスは、いただいた苗も含めて、5種類となり、よく花を咲かせている。

さがりばな（さわふじ）が今年開花した。相変わらずブーゲンビリアがよく開花している。花類は花木が中心になってきた。草の花は、苗を買ってきても、玄関通路付近のプランターに植えるにとどまっている。庭畑には、日々草などの多年草、あるいはトレニアコンカラーのようにこぼれ種から、毎年開花するものがあるが。



日々草

2010年8月19日 我が家西側の通路

我が家の敷地は、やや細長い傾斜地で、全くの変形だ。建物は敷地のなかのやや上方にある。その建物の両側に細い通路があるが、西側は本当に狭い通路で、ほぼ私だけが作業用に通る通路だが、6年たってようやく整備できてきた。

フウリンブツソウゲ、千年木、クロトン、マニラヤシ、タイワンレンギョウなどが成長し、1～2メートルを越える高さになってきた。

条件が悪いところなので、いくつか駄目になったものもあるが、残ったこれらはたくましいものたちだ。



2010年9月23日 東側通路

東側通路は、西側ほどではないが、細い通路だし、通路に沿って隣地との境界に高さ50センチほどのコンクリート塀を作った。その塀にそって水路がつくってある。元々自然にあった水路を、コンクリート化したものだ。通路と建物の間の細長い所に観葉植物を育てている。

2010年7月24日 中庭

我が家の駐車場から、建物へは橋で渡り、建物3階に玄関がある。敷地の傾斜がいかに激しいかわかりただけよう。

その橋の下が、写真のように中庭だ。

日陰なので観葉植物が中心。上に見えるのは、駐車場から玄関に通じる橋。左上にぶら下がっているのは、私が描いたブイアート

※ 2年後の2012年には、完璧に観葉植物で覆われている。



2010年9月7日 我が家の樹木「目通り」≒幹回りビッグ10

ここに住んで6年。樹木の雰囲気も変わった。

住む前からあり、そのまま大きくなっているもの数本、住宅建築のため移植したもの数本、住み始めてから植えたもの10数本、合計して40～50本が生きている。

これらについて紹介していこう。高さ順にしようかと思ったが、ふと幹回りのことを思い出し、ウェブで調べてみた。

みどりの風 <http://www.e-ueki.net/tree.php> というサイトがヒットし、詳しく書いてあった。

幹回りというのではなく、「目通り」というのだそうだ。

「樹木の幹まわりの太さを、人間の目の高さで計ったサイズです。地面（GL）より1.2mの幹まわりのサイズを目通りと言います。

株立ちとは、1本の木で、根元から複数の幹が生えている樹形のものを指します。

「H」・「W」は上記単木と同じ測定ですが「C」に関して幹が数本ありますのでGLより1.2mの幹まわりの合計の70%を「C」とします。例：①20cm ②35cm ③15cm だった場合 (20+35+15) x70%とし、49cmになります。」とある。

早速我が庭・畑の大きそうな樹木を測ってみた。

チシャノキ	$(87 + 74) \times 0.7 = 113$
ガジマル	$(27 + 25 + 25 + 21 + 16 + 16 + 14) \times 0.7 = 101$
マンゴー	$(70 + 48) \times 0.7 = 83$
ライチA	$(40 + 27 + 21 + 21 + 15) \times 0.7 = 87$
B	$(26 + 22 + 13) \times 0.7 = 43$
C	$(26 + 24 + 21 + 20) \times 0.7 = 64$
ブーゲンビリア	$(13 + 11 + 11 + 10 + 9 + 9 + 9 + 9 + 8 + 7 + 7 + 7) \times 0.7 = 77$
ティートゥリー	47
クロキ	38
	33

(他に10本)

千年木	$(13 + 13 + 10 + 9) \times 0.7 = 32$
-----	--------------------------------------

(他にたくさん)

ブーゲンビリアやガジマルのようなものは、こういう測り方でいいものかどうか気にはなる。マンゴーはライチより大きいはずだが、根元から斜めに伸びているので、小さ目になったようだ。

この他には、次のような樹木があるが、「目通り」を測れば、30cmにもならないし、蘇鉄やヤシ類のように、幹がまだ1.2メートルの高さにならないものがある。

アカバナ (ハイビスカス)	ワシントンヤシ	ザクロ	サルスベリ
パパイヤ	月桂樹	クロトン	ゲッキツ
リュウキュウサザンカ	ポインセチア	マニラヤシ	トックリヤシモドキ
コーヒーノキ	ソテツ	ドラセナ	リュウゼツラン (ユッカ)
タイワンレンギョウ (デユランタ)			

以前にあった大きいものでは、カシワバゴムノキがあるが、急激に成長して、周りを圧倒してしまうので、切った。ビッグ10だけを記事にしたが、それらは本文中で紹介していこう。

2010年9月4日 すっかり森になった愛知県赤池の家

玉城に住む前は、愛知県の名古屋郊外の日進市赤池に住んでいた。

今は、家族が住んでいる。訪問した際に携帯で撮影。上手く撮れていないが、森っぽいのがおわかりいただけるだろう。

19年前に私が植え付けた苗木が、数メートルの高さに成長。

どこに住んでも森が好きな私だ。



アロエ（シャボンロカイ）

我が家のアロエの仲間には、キダチアロエとアロエベラとここで紹介するシャボンロカイがある。前の二つは、薬草やハーブのカテゴリーで紹介することにしたい。

このアロエとの付き合いは、35年余りだ。そのころ育てていたものを、引っ越しの際にも、持ち続けている。挿し木でたやすく増える。名前については、以下でも書くが、色々な「候補」があがってきた。しかし、とうとう後掲する2009年12月5日の記事で書いたシャボンロカイに落ち着きそうだ。

2008年6月12日 名前は？ アロエの仲間

このアロエは、30年以上前から育てている。愛知にいたころも育てていたが、トロントにでかけて留守にした間の冬に失敗した。

沖縄にもどって、以前にさしあげてあった方が本土に引っ越すので、里帰りして、今育てている。

しかし、名前がはっきりしない。2年前インターネットで調べたとき、トリコサンカかソマリエンシスだろうと推定した。花が咲いたら確認できるだろうと思っていた。今度、久しぶりに開花して、早速調べ直した。しかし、この二つの候補とも微妙に異なる。

異なるインターネットサイトを調べたら、「*Aloe concinna* 星仙人 春萌錦」というのも候補にのぼった。しかし、このサイトは詳しい説明がないので、まだはっきりしない。

どなたかご存じの方おられたら教えてください。

ついでながら、大変美しいものだが、少々繁殖過剰なので、もしご希望の方がおられたらお譲りできる。



2009年2月17日

子孫、各地で繁栄するアロエ

このアロエには物語がある。

名前は正確のところはまだわからない。

そのことについては、昨年の6月12日の記事に書いた。

今のところの有力候補名は「星仙人 春萌錦」だ。

先日、我が家を神奈川県から訪問された旧友がおられる。

こんな話がでた。

このアロエの子どもを20年近く前に差し上げた。

近所の美容室の人が、カミソリで指をよく切るので、そのアロエの葉をさしあげたところ、傷がよく治るといので、重宝がられた。そこで、アロエの「孫」をさしあ

げたそうだが、なかなかうまくそだてられない。そこで、彼女は、自宅で育てている元気のいい鉢と交換しているという。この美容室では、このアロエが必需品になっているようだ。

こんな風に役立ってうれしい。

実をいうと、現在の我が家のものは、子どもで差し上げたものが、また戻ってきたものだ。

こんな風に各地で繁栄しているのは、他に月下美人と千年木がある。

千年木は、いまでも、私の前の職場の中京大学で元気よく育っているはずだ。

月下美人を、一晩に10いくつも咲かせた人もいる。

我が家の月下美人も実は、これまた差し上げたものの子どもがまたもどってきたものだ。

こんな風に旅をして各地で繁栄し、また我が家にもどってくるという植物たちだ。





2009年12月5日

先日海洋博公園で同じものを見つけ、ようやく判明

繁殖力旺盛でたくさんの方に、名前不明のまま差し上げてきた。

アロエの仲間でも薬用にもなる。

強力で、お風呂に入れすぎる失敗もした

アスパラガス

2010年1月31日

観葉植物の本に登場するから、アスパラガスも観葉植物なのだろう。

でも我が家では野菜

本では、鉢植えなどで育てる前提で書かれているが、我が家では屋外が前提

アスパラガスは2メートル近い高さ

でも観葉植物らしく育てることもあるのだなと発見



アナナス

2010年7月2日

5年ぶりの開花

ここに住み始めたころいただいたもの鉢から移して露地植えにしたが、開花せず。

昨秋、もう一度移植して、開花にいたる

アネモネ

2010年1月13日

一昨日、暖かさに誘われてか、初開花
しかし、今日は寒い。

愛知にいるときも楽しんでいたが、開花は4月だ
った。

沖縄で初挑戦。

つぼみも続々とでき始めているので、もうしばらく
くすると、もっと楽しめそうだ。



アマリリス

我が畑・庭には3種が生育している。

2009年3月28日

この種は、土地の前所有者の方が植えておいた
ものと思われる。庭のあちこちにある。

2010年4月21日

見事な開花



2009年4月7日

赤一色のアマリリス

上に紹介したものは、赤白のツートンカラーだが、これは赤一色。これも前所有者の方が植えておいたものだろう。

2009年5月27日

もう一種のアマリリス

2008年10月東村で購入し

て植えたもの。



2010年6月4日

上と同じものの翌年

名称不明→エピデンドラム

2009年5月22日

隣の畑の方から、ここに引っ越した際にいただいた盆栽。

ガジマル、オリズルラン、トラノヲ、ドラゴンフルーツ、そしてこの蘭の寄せ植えだ。

毎年、この時期開花する。しかし、名前が不明。蘭の本を見て探すが、まだよくわからない。

※ 2012年南城市のオープンガーデンで、ランのガーデンで専門家にあつて、名前を教えてくださいました。



オオタニワタリ＝アスプレニウム

2010年2月1日

我が家の観葉植物には植えっぱなしが多い。観葉植物の本を読んで、育て間違いに気づくものも出てくる。

オオタニワタリは大丈夫そうだ

オオバナアリアケカズラ

2008年9月18日

玄関と我が家入り口をつなぐ橋の手すりに沿
わせた。梅雨明け後ぐんぐん伸びる

高さが5メートル。横の長さ10メートルぐ
らいだろう。ここに住み始めてすぐに植えた。

※ この後、橋の上のアーチをつくって這わ
せたら、1年で完全に覆うまでに至った。

しかし、2012年9月の台風で、完璧に破
壊された。それでも、すぐに元気に育って
くる。



2010年5月22日

2009年5月21日



オクラレルカ



2010年4月10日

2年前、我が家を訪問された方に植物を差し上げた返礼にいただいたもの。

今回、はじめて咲いた。

あやめ、かきつばた、はなしょうぶ、しょうぶ、アイリスの区別がさっぱりつかない私。

ウェブで調べたら、「あやめの仲間の見分け方」というサイトが見つかった。それを参考にすると、あやめが一番近い。

数日前の新聞に喜如嘉のオクラレルカの写真がのっていた。我が家のものと大変似ている。多分これだろう。ウェブサイトで調べると、喜如嘉の話、生け花の話、写真の話ばかりで、植物の種類についての記事は見つけれない。オクラレルカとあやめとが同じなのかどうかもわからなかった。

いずれにせよ、美しい花だ。

※ その後、根茎で大繁殖。株分けして、数カ所に植えている。

オリズルラン

2009年4月2日

我が家の庭でぐんぐん繁殖

シュートをどんどん出して限りなく繁殖する
感じた。

この土地があっているのだろう。



2009年5月25日

花

2センチ足らず。

ひっそりと咲く

ガザニア

2009年4月10日

ほぼ毎年のように、苗を買って植えて楽しんでいる。



ガジマル

2007年9月15日

我が家敷地の東南角には、大きな岩がある。その岩に、数センチぐらいのとっても小さいガジマルがあるのに気づいたのは、引っ越しそうそうのことだ。

これは大切にしようと思い、そのまま伸ばしてきた。

今では、170センチ、つまり私の背丈ぐらいになっている。靈感の鋭い方が、このあたりは我が家の神聖なスポットだという見立てをしてくれた。恵美子は、ほぼ毎朝とっていいくらいに、ここで瞑想している。

私もこの付近を大切に、手入れしている。

2010年7月24日

今や4メートル

敷地南端の岩に立つ

後ろは隣の森

神々しい雰囲気を少しずつ醸し出している



※ 2012年末現在、さらに巨大化している。

隣地にはみ出さないように、剪定している。



2010年9月19日

幹

ここに来た時は、岩の間から10センチほど顔を出していたが、今や4メートルほどになっている。

ガジマルは、神々しさを感じさせる。キジムナーが住むようになるかもしれない。

成長が著しいので、剪定作業が大変だが。

2008年4月13日

寄せ植えの中のガジマル

近所の方からいただいた寄せ植え。

大きくなったので、大型鉢に移植

ガジマルの根は岩を割ってしまった。



2010年2月1日

リンゴ!? 実はガジマルの実の拡大写真

おいしそうに見えるでしょう

玄関脇の寄せ植え

ガジュマルの実は1センチぐらい

※ こう書いたが、実かどうか、自信がないのが率直なところだ。毎年出てくるし、可愛いが。

カシワバゴムノキ

2010年2月10日

観葉植物として、本にのっているのを見て驚いた。

ちょっとしたお付き合いの歴史があるからだ。

隣地の境界近くの我が家の敷地内に、高さ数メートルの、この木があり、工事関係者から切っていいかどうか相談があった。

やむを得ないだろうということで切った。切り株は周り1メートルを超えている。切断したものをしばらく庭の椅子がわりにしていた。

この木の名前がわからなくて、いろいろ調べたりもした。

あちこちに自然に生えているが、沖縄特有のものではなく、植栽用に海外から持ち込まれたようだ。

ある時、庭に数センチの苗木が育っているのに気づき、きちんと植えてみた。

成長の速さが尋常ではない。1年に1～2メートル伸びる。周りの木を圧倒してしまうので、切った。

隣地に生えている2本が、現在高さ5メートル近くで、その枝を我が家にまで入りつつある。写真はそのうちの一本だ。



菊

2009年11月24日

玄関脇のトックリヤシの隣。

菊は元気で育てやすい。



クチナシ

2010年5月9日

苗を植える

愛知の家でも育てていた

元気よく、芳香を撒き散らしてくれることを期待

夕方、つかの間の降雨中断時に、急いで植える

※ その後、順調に生育し、台風被害も軽微だ。

2012年末、1メートルを越す大きさになる。

クフェア

2009年4月11日

色は2種類

ほぼ年中咲く。愛知の家でも育てが、冬越しが微妙だった。ここでは、何の問題もない。

背丈は30センチぐらい。

繁殖力旺盛で、こぼれた種からどんどん殖えていく。広がり過ぎないようにするほどだ。



グラジオラス

2009年6月5日

ずっと植えっぱなし

それでも、毎年、忘れたころに咲く。こんなところに植えたっけ、という感じで。

くろき

(クルチ りゅうきゅうこくたん)

2007年9月10日



2010年09月17日

我が庭には全部で12本ある。半分以上が、建物建築のために移植したものだ。すべて前所有者の方が植えられたもので、10数年はたっているだろう。ここに住み始めたころは、よく目立っていた。

しかし、成長が遅いので、他に木に囲まれる感じになってきた。それでも確実に大きくなっている。1年に10～15センチぐらい高くなっているだろう。

毎年、根元に新しい苗が育つが、これ以上は不要なので、取っている。

クロトン

2010年2月3日

種類が膨大だが、我が家にも何種かある。

3つに絞って紹介しよう。

これは、玄関脇の鉢植え

クロトンはもっばら、恵美子の担当



2010年2月4日



挿し木で超カンタンに増える

上は3階ベランダのもの。

※ 後に地植えにする。

右は。中庭。

※ 現在では、
2～3メートル
になり、玄関の橋
の近くまで来てい
る。



クワズイモ (アロカシア)

2010年2月2日

我が家では、あちこちに自生状態。近隣でもよく見かける

嫌われることさえある。「くわずいも」などという名前もその感じを示している。

他府県の園芸で販売されているのを見て驚いたことがあった。

それなりに美しいので、観葉植物にされる雰囲気もわかる。



2010年7月16日

離れてみると、そう美しいわけではないが、目立つ。
近くに行くと、接写してみると、輝いていて、結構美しい。

大きな葉っぱは知られているが、実は気づきにくい。
芋は食べられないが、実はどうだろうか。食べたい人はいないだろうが

ゲッキツ

2010年2月5日

あちこちに自生

我が家にも、自生。岩の周辺二か所に。

だから観葉植物だとは思ってもみなかった。

これからは、少し美観を考えて手入れしよう。



コーヒー

2010年2月10日

近隣の方から3本。いただいた。

4年たって、高さ70～80センチ。

コーヒー栽培している人に、酸性土でないと難しいとのことを聞いた。

そこで、鹿沼土、ピートモスを入れてみた。

今、新芽が出ているので、豆ができないかと期待している。

※ この年から、少しだが、収穫し、自家製コーヒーを飲む。



コスモス

2009年6月13日

このころ、粘土団子による栽培の実験をしていたが、その団子に花の種を混ぜ合わせたら、出てきた。

コデマリ

2009年3月20日

3～4年前庭に植えた木。木もこじんまりしているが、花もそうだ。

名前がなかなかかっこいい。名前の通りの花だ。



2009年11月19日

コリウス

2010年2月12日

義姉がたくさん立派に育てている。

そのなかの一つをいただいた。



2009年5月14日

コルディリネ

2010年2月11日

千年木の仲間だ。千年木は、このあたりには、どこでも見られるもので、我が家にも沢山だが、写真のものは、観葉植物としていただいた。



サガリバナ＝サワフジ

2010年7月31日

今朝庭を歩いていると、見慣れない花が落ちていた。

上を見ると、サガリバナの木だ。昨夜、開花したことが分かった。

二本植えてあるが、二本ともだ。

片方が、半分ほどつぼみを残している。

そこで、待ち構えて撮影。午後7時半だ。フラッシュ撮影だ。

待望の開花が突然やってきた。

サボテン

2010年5月12日

高さ3~4メートルになるサボテンのてっぺんの伸びに
勢いが出てきた



2010年6月17日

隣家からいただいた巨大なサボテン。

高さは4メートルになっている。

右下に小さな枝分かれし始めたのが見える。

どれだけの高さになるだろうか。花咲きはいつ
だろうか。

玄関脇にあるので、訪問者にわかりやすい。

サルスベリ (百日紅)

2010年6月18日

梅雨開けっぽくなってきた。

その時期に合わせるかのように開花だ。

いつもより遅いかな。

3~4年前に小さな苗を買ってきて植えたが、毎年咲く。



2009年7月4日

現在高さ2メートル足らず

2008年7月6日

小さな蝶が蜜を吸っている



サンセベリア=トラノオラン

2010年2月14日

我が庭の数ヶ所で旺盛に生育

写真のものは、一階セミナールームの窓下。

苗を購入してきた記憶はない。いただいたもの、既にあったものを株分けして殖やした。

我が庭に観葉植物が合うようだ。

マイナスイオンどうのこうので、人気だが、この近辺ではありふれた植物だ。



2010年8月21日

たくさんのつぼみや花があち

こちに出てきたが、関心を引

きつけにくい地味さだ



2010年2月13日

背が低いタイプのもの。

雑草状態に近くなっている

後ろに写っているのは、背の高いサンセベリア

サンダンカ

2010年7月25日

苗を植えて4年ほど



2009年7月30日

サンニン（月桃）

2010年2月9日

我が家のあちこちに自生

新しいものがどんどん出てくる季節

ムーチー葉、お茶、虫よけなど、いろいろと活用
できて有用だ。



シッサス

2010年2月15日

4, 5年前挿し木で、3階ベランダに育てたが、
管理の都合で、地植えにした。

すでにつるが10メートル以上あったので、網を
張って、つるを3階手すりまではわせた。

すぐによく成長している。

最大の問題は、いも虫、蛾がこのんで食べること
だ。でも、それに負けず頑張っている。

このところの雨続きで、新芽がたくさんでてきた。
3階までの網を埋め尽くしそうな気配だ。



2009年7月28日

これまで三階にあった
鉢植えだったので、窮屈になった
庭に地植えにし、大きくしようということだ
蔓はすでに10メートルほど
切らずに巻いてそのまま移動
写真は鉢のうえに巻いた蔓を置いたところ

2009年9月18日

鉢植えから地植えにして、一か月余り。
生命の危機を感じてか、花を咲かせてい
る。

写真上部の私の指からもわかるように、
とても小さい。

それにしても、すくすくと育っている。
ネットをはっているのだが、もうずいぶん
覆い始めている。



ジャスミンマツリカ (ムイクワ)

2009年5月21日

この時が初開花だ。

冬に植え付けた苗から開花した。2センチ余りで
清楚感溢れる。



2010年4月16日

白の花しか知らなかった

紫が出てきてびっくり

スイセン

2010年1月21日

愛知県からもってきた球根

沖縄の季節感覚に合わせるのに苦労しているようだが、
一応毎年咲いている



スイレン

2007年11月1日

甕を買って植えたら、さっそく開花した。

スパティフィラム

2010年2月16日

我が家の観葉植物は、自分たちで買ってきたものは少なく、自生、いただきもの、昔育てていたものを移植したもの、などがほとんどだ。

このスパティフィラムは、いつ手に入れたか不明だ。



セイロンベンケイ

2008年12月30日

この時期、大量に咲く。まわりを圧倒するくらいだ。

3～4年前、奥武島の方からいただいた。

落ちた葉っぱから芽を出し、すぐに広がる。だから、適度な量にとどめるために大量に「処分」する。

2009年12月18日



2008年2月16日

セイロンベンケイには二種ある。一つは、よく見られるもので、開花の盛りは終えつつある。

この写真のものは、地味な感じで、これからが見頃である。

いずれの種類も生育盛んで、地面に落ちた葉からいきおいよく成長してくる。

こんなに成長力のある植物も珍しいとっていいほどであり、思い切って整理していかないと、庭を支配する感じにさえなってしまう。それだけに、雑草を防ぐ役割も果たす。



2009年1月25日

屋比久壮実『野草の本』（アクアコーラル企画2005年）で調べると、私がこれまでセイロンベンケイと誤って、ブログでも紹介していたのは、キダチセイロンベンケイで、沖縄のあちこちにもともと生育したものの方が「セイロンベンケイ」であることがわかった。

しかし、これも実はアフリカ原産だとのことだ。我が家のものは、3年くらい前に、「山の茶屋 楽水」の大きな裏庭園で、オーナーからいただいたものを移植したものだ。今では、庭のあちこちで元気よく育っている。

先日、近隣の方と話していたら、この名前は、ブルブルというのだそうだ。子ども時代、この赤い「萼片花」の中味をとって、袋になったものを、笛のようにして、口で鳴らしていたとのこと。私が生まれ育った中部地方では、ほうずきで そんな遊びをしていた。こういう遊びの話は、戦後まもないころのことだが、いまでもやるのだろうか。



2010年2月27日

セダム

2010年2月17日



千年木

2007年9月14日

私の大好きな木である。17年前に、沖縄を去る時に、西原のそれまでの家で育てていたものを切り、10センチくらいにカットして、100本近く愛知にもっていった。そして、自分で鉢植えにして育てるだけでなく、たくさんの方に贈呈した。

大変強い木なので、多くの方が育てるのに成功した。そして、中京大学の研究室で育てていたものは、事務室、そして何人かの研究室で育っているはずだ。

今は、ベランダで、鉢植えにして、何本も育てている。それは夕陽さえぎり作戦のためでもある。

ともかくたくましい。7月の台風でも大変な状態になったが、すぐさま葉・芽を出し、どんどん成長している。



2010年9月2日

写真は、8月10日の嵐の直後芽吹いたもの

3日前の嵐の後にも、もう新芽が出てきた

千年木は三階ベランダにあり、我が家では、一番風が強い場所だ



2009年12月3日

ありふれた植物だが、とても小さい花に気づく人は少ないかもしれない

ソテツ (蘇鉄)

2010年2月16日

広がった葉全体では2メートルある。

幹もずいぶん太い。

我が家を建てる前の敷地に10センチくらいのものを発見し、現在の場に移植したので、6, 7歳ぐらい
今では、子どもまで沢山。

その子どもを移植している。



2009年3月30日

数日で大きく広げそう

ここは大きな岩の上で、少し土がたまっている場所だ。日当たりもいい。

いまでは、高さ1メートル以上、広がりも直径2メートル近くになる。

2010年3月27日

昨秋根元に見つけたたくさんの赤ちゃんを見つけ、他の場所に植えたら、ほぼすべて芽を出している。

それらをどこに定植しようか考えている。ご希望の方には差し上げようかとも思っている。

植えて3ヶ月、新葉を出した。



2010年9月23日

「目通り」ということで、幹回りをはかろうとすると、高さが1メートルくらいで、1.2メートルの高さで測るという基準には達していない。

幹はすでにかなり太いし、葉が大きい。一枚の歯がメートルある。

今年、根元から10個ぐらいの赤ちゃん蘇鉄が出てきた。いくつも移植した。

今後どうなっていくか、楽しみだ。

台湾レンギョウ (デュランタ)

2010年6月23日

梅雨明けで花々が百花繚乱状態



2010年2月17日

最近あちこちで見かける。4, 5年前苗木を、とても安い価格で数本購入して植えた。

レンギョウという名で売っていた。しかし、愛知の家で育てていたものと違う。だから、仲間なのかな、と思っていた。

今日、ウェブで調べると、台湾レンギョウともいうようだ。だから、レンギョウとは異なるようだ。

写真のものは、高さ3メートル。本では高さ2メートルになると書いてあるが、環境があっているのか、生育がいい。

紫色の花も美しい。黄色の実もきれいだ。写真にも写っているが、小さすぎて、はっきりとは見えない。

※ 後に、台湾レンギョウとキバ台湾レンギョウとがあることを知る。上のものは台湾レンギョウで、下はキバ台湾レンギョウ。



チシャノキ

2007年9月11日

我が家でもっとも大きな木である。高さは5～6メートルあろう。おそらく自然にはえてきたものだろう。隣地との境界近くにそだっていたが、よく調べてみると、我が家の敷地内である。

ツタがよくはうので、時々とる。大き過ぎるので、剪定もしながら育てている。メジロの巣もみつける。



2010年9月9日

我が庭最大の木。高さは7～8メートル。

ここに私たちが来るずっと前からの木。樹齢は20年を超えるか。隣地に近いし、大き過ぎるので、扱いに困っている。白い花を時々咲かせる。



ツワブキ

2010年12月25日

沖縄で初めて見た時には、大きさにびっくりしたものだ。

愛知あたりのものと比べると、数倍の大きさだ。

我が庭の西側通路にひっそりだが、大きく咲いている。



ティートリー

2010年12月29日

5年前に10センチほどだった苗が、今では高さ4メートル

伸びすぎた枝を切って、葉を煮出して、風呂にいれるのが絶好のゼイタク。

先日、我が家を訪問した方々に差し上げたら、たくさんの人に分け、風呂に入れて楽しまれたそうだ。

3月になれば、とても美しい花が咲く。桜の花見に匹敵する。

もう一本レモンティートリーを育てている。これはまだ高さ20センチ余りだ。

※ このシリーズ1の「ハーブ」でより詳しく紹介した。

デレメンシス

2010年2月5日

ドラセナの一種



トックリヤシモドキ

2010年2月25日

4年前に植える

1年に10センチ余りしか伸びない

幹の姿が美しいが、幹が見えてくるまで、あと2、3年

2010年4月21日

どうも成長が悪いなと思って、見ると根元が虫に食われている。茶色になった古い葉を剥ぐと、白い幼虫2匹でてきた。30年前、西原に住んでいた時、ココヤシが同じようにやられた。

そこで、効くかどうかかわからないが、木酢液を薄めて、根元にかけてみた。

1、2ヶ月ぐらい前まで異変は見つからなかった。まだ、中の芯までは食べられていないようなので、何とか回復してくれないか、と願っている。 ※この後、無事に回復した。



ドラセナ

フラグランサ「マッサンゲア」

2010年2月18日

本に書いてある観葉植物の名前は、舌を嚙みそうで覚えにくい



マルギナタ？

2010年1月29日

庭の観葉植物には名前不明が多いので、本を買った。

知らぬ間に10種以上の観葉植物が庭にある。鉢植えていただいたものを露地植えたものが多く、名前不明なのだ。

これから勉強していきたい。

トレニヤ・コンカラー

2010年5月4日

こぼれ種から、庭畑のあちこちに出てくる
とっても小さい花なのに、なぜか、征服者（コンカラー）
という名前だ。



2009年5月23日

種こぼれで、あちこちに咲き始める。

15年以上前、愛知の家で育て始めたが、付き合い始めだ。

2008年12月30日

12月というのに、まだ頑張っている。

夏から秋にかけて咲いているが、いまでも開花させている。

4年前に苗を植えたものだが、あとは自然の種こぼれで、
毎年旺盛に咲いている。

コンカラー＝征服者という名前通り、強力な花だ。生き残
る上では強力だが、花そのものはとても可憐だ。多分外来種
なので、その点は多少気になるが。



なでしこ

2010年5月1日

ありふれた花だが、私が大好きな花だ。



ナンテン

2010年5月10日

昨日植えた苗だ。

愛知の庭にも植えた。というより、購入時に、業者がすでに植えていた。もう19年になる。どんどん育つのだが、木・枝葉ばかり育ち、赤い実がうまくでてこない「なんてん」(難点)がある。

※ なんてんは、南天と書くが、それを難転を理解して縁起物にされている。それをさらにひっかけて、難点と言ってみた。

愛知の家は、今娘夫婦が住んでいるのだが、私が年一回ほど行くときに、一部手入れしている。そのたびに、南天の「間引き」をする。

いろいろと悩ましいことがあった、この一年、「難を転じて」幸せがくるように祈って、沖縄の我が家にも植えた。

ニチニチソウ

2010年4月1日

ここに住み始めたころに植えたが、その後は毎年、自然に咲き誇る



ハイビスカス (ぶっそうげ、あかばな)



フウリンブッソウゲ

2008年6月6日

ベランダから入ってくる夕陽さえぎり作戦は、我が家の永遠のテーマである。

私の作戦は緑によるものだ。主力は千年木だが、最近では、シーカーサー、ガジュマルなども活用しているが、その一つとして植えたハイビスカスが大きくなってきた。

近隣の枝を挿し木したもので、ずいぶん立派になってきて、花をつけはじめた。

ちょうちん型でとてもポピュラーな花だ。

2010年2月18日

花を楽しむ木だとおもっていたが、本によると、これも観葉植物だそうだ。

我が庭には3種あるが、これはふうりんぶっそうげだ。

このあたりにはどこでもある。我が庭のものも、近隣にあるものを挿し木で大きくしたものだ。

今や4メートルの高さ。

このところの寒さで、今はたった一つだけ咲いている。

夏になると、花は氾濫状態。



二段花のハイビスカス

2009年4月21日

我が家自慢のもの



2008年8月18日

花のなかに花が！

ベランダの花を、海をバックに写す。

挿し木で殖やして、あちこちに植える。



2010年5月2日

庭の芝生をバックに写す

大輪のハイビスカス

2009年11月9日

いつもいくマッサージ屋さんからいただいて、植えたばかり。

美しい花に見とれていたら、奥様がわざわざ接ぎ木をして、プレゼントして下さいました。



2010年1月9日

移植して2ヶ月、まだ大きくない木なのに、咲き乱れ状態

2010年4月26日

これはまた別の木



伊江島で買ってきたハイビスカス新種

2010年6月14日

9日に苗を買い、鉢に植える

新種でまだ名前がないとのこと

2010年7月11日

同じ木だが、どんどん開花



バラ

2010年5月11日

バラの苗を植えた。三十年前、二十年前にも育てたことがあるが、虫にやられて断念してきた。殺虫剤を使うのはイヤだ。近隣の人が殺虫剤なしでうまく育てておられる。そこで私もという気持ちになり、再挑戦だ。



ヒメヒイラギ

2008年12月27日

3～4年前に植えた。当時20センチ足らずだったが、今や1メートルを超している。日陰に美しく立っているという感じ。

百日草

2009年6月28日

3月末から4月にかけて、粘土団子にして、野菜種などと一緒にうえつけた。



フィットニア

2010年2月19日

小さくてかわいい。

昨年植え付け

順調な生育

グランドカバーになりそう。

ブーゲンビリア

ブーゲンビリアがブログ掲載では一番多い。「歴史」をたどっていこう。

2007年3月7日

2年前に植えたものが、5メートルを越して、2階まで上ってきた。

今年中には3階ベランダまで届くことを願っている。

奥武島からも見えて、我が家のシンボルになりつつある。



2008年3月5日

恵美子の提案で、我が家はいくつかの個所で工事をしている。その一つは、ブーゲンビリアを3階までのぼらせようという私の魂胆だが、これまでビニールロープでしようとしてきたが、難しかったので、強いワイヤロープをはってもらった。今年中には、目的を果たしたい。

写真の下の方には、木製の手すりをつけている。これまでは、鉄製のものだったが、無粋なので、木製をつくってもらっている。

今朝までとても寒かったが、今日の午後からは暖かくなってきた。今年は昨年と比べると大変な寒さだ。野菜も成長が少々遅くなっている。今日の暖かさはブーゲンビリアににっかわしく感じる。



2008年8月1日

ついに3階ベランダまで到達。地面から8メートル近い。

上から下を見下ろして撮影した写真の右側パイプが、3階ベランダの手すりだ。



2009年2月10日

我が家のブーゲンビリアは、住みはじめてまもなく、娘夫妻が記念植樹ということで、花野果村で購入してきた苗を植えたものだ。

そのころ、1メートルぐらいだったが、今や10メートルくらい。3階ベランダまでおおっている。今年中には、4階まで、場合によっては屋上まで達するかもしれない。

写真は一階と二階部分。

ほっておいてはここまで行かない。結構な手入れ作業をしている。

遠くからも目立つので、我が家のシンボルにもなりつつある。

このところ、すずめとめじろが盛んに訪問している。写真にとりたいが、小鳥をとるのは難しい。

2009年7月3日

地上から10メートルになり、さらに伸びそうな気配。屋上までいかせようと、さらに期待する。

そこで、屋上から3階ですりまで、ロープでつないだ。

写真は、4階から撮影



2009年7月28日

三階ベランダに広がった花

来春まで続くだろう。冬場が満開だ。

我が家のシンボルになりつつある。

南側から見ると、かなり目立つ。奥武島からも気付くほどだ。

2009年10月1日

地上から1階から3階へと写す





2009年10月1日

前の写真の続き。

3階から4階へのものを、3階ベランダから写す

2009年12月6日

満開

3階ベランダで写す





2010年7月27日

開花は、年に3～4回繰り返す。

2010年12月13日

毎年、この時期から我が家のブーゲンビリアが満開になっていく。1月まで続く。

高さ10メートルの木の、3階ベランダまで伸びた枝の花を撮影した。

花が散り始めたら、床が花の海となる。恵美子はそれを集めて、草木染めをすると張り切っている。





2009年1月27日

花

鮮やかな赤やピンクのなかにひっそりと咲く。

でも自己主張を感じる。直径8ミリほど。

これが花だと知る人は多くない。

2009年3月9日

雨でウッドデッキの上に落ちた花
向こう側には、マンゴーの花が見える





2010年9月13日

幹

この木は、あえていうとツル性なので、地際から、何本も「幹」というか「枝」というか、そんなものがどんどん出てくる。そして小さいのは、どんどん切っている。それでも「目通り」を測る。1.2メートルの高さで、12本の「枝」がでている。

あちこちにどんどん伸びるので、剪定作業を年に2～3回する。これが大変な作業で数時間かかる。ときどきトゲが刺さるので、苦勞する。

でも、この剪定で花つきがよくなる。

ふうせんかずら

2009年9月24日

近隣に巨大なものがあり、このブログにも何回か登場した。

種店でみつけたので、粘土団子に入れてみた。

ほかの種が暑さと水不足でうまくいかないなか、元気よく生長した。

ただ、当初予測したでかいものではなく、小さいものだった。おそらく種が異なるのだろう。

写真のなかで、とても小さく白いものが花で、緑の丸いものが実の袋だが、数日たつと茶色になる。



フリーズア

2010年5月3日

クフェアがおおってしまった中から咲いてくる花。

植えた場所から判断して、フリーズアだと思う。大きさは少々貧弱な感じがするが。

植えっぱなしで5年余り、ともかく咲いているのは立派だ。



アイビー＝ヘデラ

2010年1月30日

愛知県の旧宅のものを移植

工事で痛んでいたが、元気を取り戻しつつある

壁を伝ってのびていくことを多少は期待している。

ペペロミア

2010年2月20日

愛知の庭で育てていたものを移植した

かわいい。





ポインセチア

2010年2月21日



2009年12月24日

中山音楽の夕で大量使用したので、

残り少ない。

中庭にて。



ホテイアオイ

2008年8月8日

我が家の甕

今朝突然開花

睡蓮の開花を待っているが、その前に

2010年6月30日

玄関脇のかめに咲く

繁殖し過ぎて、かめに棲んでいるグッピーが見えないくらいだ。



ポトス



2010年12月24日

日陰の庭には、ポトスが広がる。葉の大きさは、数センチという通常のものを見つけるのに苦労するほど、大きくなっている。20センチ以上のものまである。

2010年2月22日

我が家の観葉植物の王様？、女王様？
のような存在

あちこちで、ぐんぐん伸びている。
つる性なので、自由自在といった感じ
葉も大きいのは、20センチを超す。





マニラやし

2010年2月27日

マニラやしは、5年前に高さ20センチぐらいで植えたが、今では2メートルぐらいになる。

ミルクブッシュ

2010年2月26日

葉は小さく、茎めいたものがニョキニョキと、結構大きくなる。

名前がわからなかったが、ブログ掲載したところ、「緑大好き」様が、名前を教えてくださいました。



メイフラワー

2007年3月16日

庭で今咲き誇っている。
ここに住みはじめたころ、
知人から記念にいただいた
もので、繁殖力旺盛で、あ
ちこちで満開状態である。



2008年3月18日

暖かくなり、いっぱい開花

2009年2月16日

このところの暖かさで、開花からいっきに満開へ。



2010年2月23日

暖かさと日当たりで、急に満開状態に

数年前、いただいた鉢植えから大きくなった。

大きくなりすぎるので、ばさばさ切っているのが実情

モンテスラ

2010年2月23日

ぐんぐん伸びて、壁面を伝って二階へ



ユーフォルビア

・ダイヤモンドフロスト

2010年2月14日

我が家の新しい植物

新しものらしく、育て方は、インターネット検索で調べた。

百合

2009年4月23日



2010年4月28日

大きいが清楚

数年間植えっぱなしだが、毎年きれいに咲く

ラン

2010年8月2日

3, 4年前に、マンゴーの木のマタに、ランを置く。ココヤシの実をくりぬいたもので育ったランをそのまま、置いた。手入れなしだ。

随分大きくなって、ついにつぼみをつけた。



2010年8月7日

数日前の記事で紹介したつぼみが開く



2010年8月13日

前回の写真よりずっと立派になってきた。

リュウキュウサザンカ

2008年12月11日

我が家に住みはじめたはじめの頃に購入してきた苗を植えたから、もう4年がたつ。

毎年、かわいい花をたくさんつけてくれる。

植えたところは、我が家入り口から下ったところで、ガス・水道管などを敷設したうえに土を覆ったところだった。

見栄えがよくないので、私が素人作業で、1㎡以下の小さな箱庭をつくったところだ。

そこには、他にオリヅルラン、そしてオオバナアリアケカズラを植えた。後から、恵美子が近隣で自然に生えている可愛い花も植えた。

オオバナアリアケカズラは生育盛んで、現在、玄関への橋の片方側を全面的に覆い、美しい花を咲かせ続けている。とにかく大きくなっている。

それに栄養分を吸い取られているせいか、サザンカの成長は芳しくはない。ほんの少しずつ伸びている感じだ。「持続」しているだけでも立派だと思う。



2009年12月1日



2010年11月30日

リュウゼツラン

2010年2月26日

人からいただいたもの。

本でさがしたが名前不明だったので、ブログで尋ねたら、
ご親切なコメントのお陰で、名前が判明した。



レオノチス＝ライオンズイヤー

2009年2月1日

苗を植えてから3年目で開花。今朝、最初の開花を発見して撮影
花芽も戦列な赤が美しいが、花になると、ユニークな美しさを出す。

ワシントンヤシ

2010年2月24日

我が家には3種のヤシを育てている。

ワシントンやしは、4年ぐらい前に、20センチぐらい
の苗を植えた。現在、2メートル。

佐敷の国道沿いには立派なのが並んでいる。30数年前
から見てきた。

※ 2011年5月の台風で倒れてダメになってしまった

